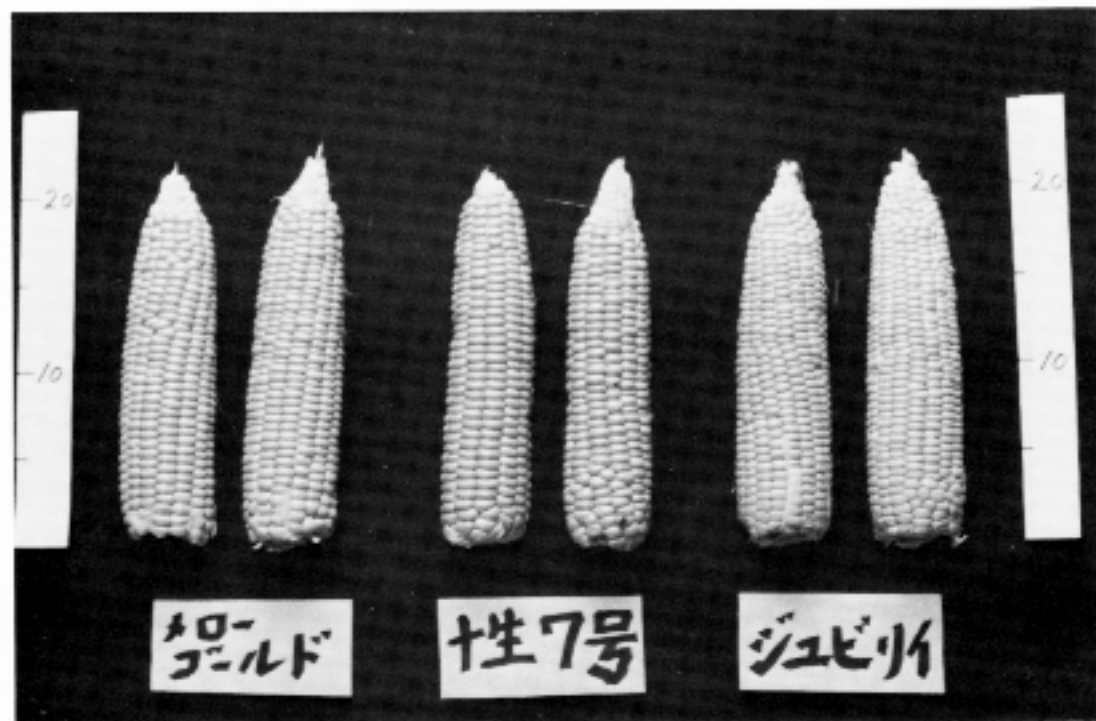


〔ピリカスイート〕



メローゴールド

ピリカスイート

ジュビリー

ピリカスイート

登録番号 トウモロコシ農林交19号

登録年月 昭和 50 年 6 月

旧系統名 十 生 7 号

育成場所 道立十勝農業試験場

1. 来 歴

1971年にV 574 × Ma 21547 のスイート種の単交雑一代雑種を育成した。1972年の成績が良好であったので、十生7号の育成系統番号を付して以後、生産検定試験、系統適応性検定試験、奨励品種決定現地試査等に従試すると共に、加工適性等を検討した。

組合せ：(V 574 × Ma 21547)

2. 生態的特性

生食適期は「ゴールデン・ビューティ」より4日内外おそく、「ゴールデン・クロス・バンタム」よりは15日内外早い早生種である。有効雌穂数が多く、剥皮雌穂量は「ゴールデン・ビューティ」に比しかなり多く、「ゴールデン・クロス・バンタム」よりは若干少ない。耐倒伏性は中位であり、すす病抵抗性は他のスイートコーン品種と同様に弱い。

3. 雌穂の形質及び加工適性

平均1穂重は「ゴールデン・ビューティ」よりも幾分大きく、穂型は円筒状である。粒列数は平均13.4行で12行、14行の個体が大半を占めるが稀に16行の個体もみられる。

粒色は鮮黄色で「ゴールデン・ビューティ」よりはるかに良好でクリーム状缶詰に加工した場合も粒色にくすみがなく、極良好といわれる「ゴールデン・クロス・バンタム」に匹敵する。また食味、芳香ともに良好であり、粒形はやや丸いので缶詰加工の場合はクリーム状加工に適する。また雌穂は円筒状で粒列に乱れがなく外見がよいので冷凍用、生食用ともに好適である。

4. 採種栽培

種子親と花粉親の開花期がほぼ一致しているので、両親系統を同時播種することができ、花粉親の花粉量も多く、授粉、授精は安定している。また花粉親は種子親より稈長が高いので両親系統の畦比は4：1で充分である。

5. 適地及び栽培上の注意

北海道全域のスイートコーン栽培地帯が対象地域となる。加工用として利用する場合はクリーム缶詰用、粉末用として「ゴールデン・ビューティ」と配合し、または「クイーン・アン」とおきかえて栽培する。さらに早生生食用としても利用できる。

栽培に当っては多肥栽培が望ましいが、栽植密度を極端に多くすれば雌穂が小型となり商品価値が低下するので10a当り4,500～5,000本内外に留めるべきである。

6. 試験成績

(1) 生育調査 (育成地)

品 種 名	45 日 目		分け つ 数 (本)	抽糸期 (月・日)	収穫期 (月・日)	生 育 数 (日)	稈 長 (cm)	着穂高 (cm)	稈 径 (cm)	倒 伏 (%)	ごま葉 枯 病	す す 紋 病
	草 丈 (cm)	葉 数 (枚)										
ビ リ カ ス イ ー ト	23.8	6.7	0.68	8. 5	8. 28	107	164	48	1.5	3	0.3	0.3
ゴールデン・ビュウテイ	28.1	6.9	0.34	7. 30	8. 24	103	131	29	1.5	0	0	0
ゴールデン・クロス・パンタム	19.8	6.2	1.28	8. 16	9. 13	123	192	63	1.7	—	0	0
ク イ ー ン ・ ア ン	18.5	6.6	0.04	8. 7	8. 30	108	167	53	1.5	8	0	0
メ ロ ゴ ー ル ド	21.8	7.0	0.56	8. 8	9. 2	111	168	60	1.7	2	0	0
ジ ュ ビ リ ー	19.2	6.0	0.70	8. 10	9. 4	113	181	69	1.5	2	0	0

注 1972～1974の3カ年平均値、但しクイーンアン、メロゴールド、ジュビリーは1973,1974の2カ年平均値。

(2) 収量調査 (育成地)

品 種 名	a 当 収 量				G・B 比 (%)
	生 総 量 (kg)	有効雌穂数 (本)	皮付雌穂重 (kg)	剥皮雌穂重 (kg)	
ビ リ カ ス イ ー ト	353	496	127.7	92.0	113
ゴールデン・ビュウテイ	270	441	114.9	81.5	100
ゴールデン・クロス・パンタム	525	569	152.9	105.0	129
ク イ ー ン ・ ア ン	291	393	100.0	73.0	—
メ ロ ゴ ー ル ド	435	437	146.9	106.3	—
ジ ュ ビ リ ー	430	448	143.5	96.5	—

注 1 1972～1974の3カ年平均値、但しクイーンアン、メロゴールド、ジュビリーは1973～1974の2カ年平均値

2 G・Bはゴールデン・ビュウテイを示す。

(3) 雌穂に関する調査 (育成地)

品 種 名	平 均 一穂重 (g)	有 効 穂 長 (cm)	穂 径 (cm)	粒 列 数 (行)		一 列 粒 数 (粒)	穂 揃	穂 型	絹 糸 色	
				範 囲	平 均				外	内
ビ リ カ ス イ ー ト	187	16.0	4.3	12～16	13.4	32.4	ヤ 良	円 筒	無	無
ゴールデン・ビュウテイ	185	15.2	4.3	10～14	12.3	31.0	中	〃	淡	〃
ゴールデン・クロス・パンタム	171	17.6	4.0	8～14	11.4	36.8	ヤ 良	〃	無	〃
ク イ ー ン ・ ア ン	186	16.4	4.5	8～14	12.0	34.7	中	〃	〃	〃
メ ロ ゴ ー ル ド	244	15.9	4.8	12～18	14.2	32.4	ヤ 良	〃	〃	〃
ジ ュ ビ リ ー	216	16.5	4.7	12～20	16.6	34.4	〃	〃	〃	〃

注 1972～1974の3カ年平均値、但しクイーン・アン、メロゴールド、ジュビリーは1973～1974の2カ年平均値。

(4) 試験機関における成績 (1973~1974年平均)

試験場所	品 種 名	分け つ数 (本)	抽 糸 期 (月日)	収 穫 期 (月日)	倒 伏 (%)	a 当 収 量 (kg)			一穂重 (g)	穂 長 (cm)
						有効穂数 (本)	皮付穂重	G・B比		
北 農 試	ビリカスイート	1.3	8. 2	8. 24	0	506	106	126	209	18.0
	G・ビュウテイ	0.8	7. 27	8. 18	0	457	84	100	183	16.8
	G・C・B	2.4	8. 11	9. 6	0	519	103	123	198	19.3
北 見 農 試	ビリカスイート	1.6	8. 9	9. 1	0	428	97.8	122	229	16.9
	G・ビュウテイ	1.4	8. 3	8. 26	0	429	80.3	100	187	16.1
	G・C・B	2.3	8. 20	9. 18	0	505	95.2	119	236	18.4
中 央 農 試	ビリカスイート	1.7	8. 2	8. 20	0	497	104.3	115	210	18.1
	G・ビュウテイ	1.6	7. 29	8. 20	0	449	90.5	100	202	17.3
	G・C・B	2.1	8. 12	9. 2	0	502	107.4	119	214	19.2
中 央 農 試 原 々 種 農 場	ビリカスイート	0.8	8. 1	8. 21	2	451	90.4	121	200	19.0
	G・ビュウテイ	0.5	7. 26	8. 15	1	444	74.9	100	169	17.5
	G・C・B	1.6	8. 10	9. 1	5	537	99.0	132	184	20.8
北 海 製 籾 研 究 所	ビリカスイート	3.0	8. 1	8. 23	—	—	149.8	134	214	—
	G・ビュウテイ	2.5	7. 31	8. 20	—	—	111.5	100	217	—
	G・C・B	3.2	8. 11	9. 6	—	—	136.5	122	214	—

(5) 現地試験成績 (1973, 1974年平均)

試験場所	品 種 名	抽 糸 期 (月日)	収 穫 期 (月日)	倒 伏 (%)	a 当 収 量 (kg)			食 味	穂 長 (cm)
					有効穂数	剥皮穂重	同左G・ B比(%)		
芽 室 町	ビリカスイート	8. 3	9. 2	無	598	132.6	128	上	15.9
	G・ビュウテイ	8. 2	8. 28	"	563	111.7	100	上	17.4
	G・クロス・バンタム	8. 14	9. 10	や 少	615	113.0	101	上 下	17.9
端 野 町	ビリカスイート	—	8. 24	無	548	113.5	123	中	17.8
	G・ビュウテイ	—	8. 24	"	546	92.3	100	—	15.5
	G・クロス・バンタム	—	9. 9	"	581	99.5	108	中 上	18.9
美 幌 町	ビリカスイート	8. 7	8. 30	"	453	118.8	117	上	19.3
	G・ビュウテイ	8. 2	8. 25	"	417	101.2	100	下	18.0
	G・クロス・バンタム	8. 14	9. 7	"	613	106.5	105	中	17.1
幕 別 町	ビリカスイート	8. 17	9. 4	23	606	115.5	101	良	17.1
	G・ビュウテイ	8. 13	9. 2	13	587	114.4	100	良	15.7
	G・クロス・バンタム	8. 22	9. 12	0	596	96.4	84	良	18.6
士 別 市	ビリカスイート	8. 2	8. 25	0	577	110.7	139	上	18.5
	G・ビュウテイ	8. 2	8. 25	0	468	79.9	100	—	17.4
	G・クロス・バンタム	8. 18	9. 15	0	547	96.2	120	中	18.9
長 沼 町	ビリカスイート	7. 27	8. 19	0	—	236.0	103	—	17.4
	G・ビュウテイ	7. 27	8. 15	0	—	229.0	100	—	17.1
	G・クロス・バンタム	8. 3	8. 27	0	—	164.0	72	—	17.7

注 美幌は1973、幕別、士別、長沼は1974年のみの成績

(6) 加工適性に関する調査

ホールカーネル開缶テスト (北海製缶K.K缶詰研究所調製)

テスター	品 種 名	粒 色	芳 香	味	香 味	粒 形	種皮の硬度	判 定
A 社	十 生 7 号	4.3	4.0	4.0		4.0	5.0	A
	G・ビュウテイ	2.0	4.0	3.0		3.5	5.0	C
	G・クロス・バンタム	5.0	4.0	4.5		3.5	5.0	A
	ク イ ー ン ・ ア ン	2.5	4.0	3.5		4.0	5.0	B
	メ ロ ゴ ー ル ド	3.5	4.0	4.0		4.0	5.0	B
B 社	十 生 7 号	5.0			4.0	4.0		A'
	G・ビュウテイ	3.0			3.0	4.0		B
	G・クロス・バンタム	4.0			5.0	4.0		A'
	ク イ ー ン ・ ア ン	3.0			4.0	4.0		B
	ジ ュ ビ リ ー	3.0			3.0	4.0		B
	メ ロ ゴ ー ル ド	4.0			4.0	3.0		B

ホールカーネル開缶テスト（北海製缶K.K缶詰研究所調製）

テスター	品 種 名	粒 色	芳 香	味	香 味	粒 形	種皮の硬度	判 定
C 社	十 生 7 号	5.0	4.0	4.0		4.0	5.0	A
	G・ビュウテイ	2.0	3.0	3.0		4.0	4.0	C
	クイーン・アン	4.0	4.0	4.0		—	4.0	A
	メロゴールド	4.0	3.0	4.0		—	4.0	B

注 採点法は1～5：（不良～極良）の5段階に区分
 テスターは缶詰加工業者

(7) すず紋病抵抗性検定試験成績（岩手農試1974）

品 種 名	罹 病 率 (%)	発 病 度	判 定
ピリカスイート	96.0	22.2	弱
G・ビュウテイ	88.5	30.2	"
G・クロス・パンタム	95.9	50.5	"
クイーン・アン	100.0	62.7	"
ジュビリー	97.3	50.4	"
メロゴールド	87.8	22.7	"

7. 育成担当者

(1) 育成担当者

仲野博之（1969～1974）国井輝男（1969～1973）櫛引英男（1969～1974）桑畠昭吉（1974）

(2) 系統適応性検定試験担当者

北農試：金子幸司 阿部 幹 長谷川春夫

北見農試：山木貞一

中央農試：及川邦男

中央農試原々種農場：谷原丈夫

北海製罐缶詰研究所：佐藤滋樹 渡辺勝敏